

令和6年度 学校評価報告書

学校番号(中05) 長崎市立(長崎中)学校

1 教育目標

「自ら求めて学ぶ」生徒の育成

2 学校経営方針

各種学力調査等や学校評価アンケートの結果などから、本校生徒の根っこの課題を「失敗を恐れる、逃避する」と考えた。そのことをもとに、本校の基本課題を「しなやかに考え、あきらめずに挑戦する生徒」とした。この基本課題の解決に向けて生徒の自治的な活動の機会を増やしたり、一人一台の学習者用端末を有効活用したりするなど果敢に挑戦する。

3 重点目標

- 「自律」「調整」「創造」の伸長を図る。
1. みんなが過ごしやすい学校の創造
 2. 恒常的な確かな学力向上への取組
 3. 校内研修の充実による指導力向上
 4. 学習のつまずきへの対応
 5. 平和・人権教育の推進
 6. 特別支援教育ならびに生徒指導の充実
 7. 基本的な生活習慣を身に付けさせる指導の充実
 8. 体力向上の推進
 9. 地域とのつながりを意識した経営の強化
 10. ふるさとキャリア教育の充実

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果 (肯定的割合・%)			分析及び改善策
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	94	84	100	「しなやかに考え、あきらめずに挑戦する生徒」を育成するという目標が共有され、「明るく楽しい雰囲気」の中で教育活動がすすんでいると評価されており、今後とも様々な教育活動を意欲的にすすめていく。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	98	96	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			87	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			79	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	97	87	100	いじめ防止については、見逃しゼロを実現するために、丁寧な観察、チャンス相談などを継続し、早期発見、丁寧な対応を継続していく。 教育的ニーズに対する保護者の評価がやや低い点については謙虚に受け止め、学習に困難を抱えている生徒に対する支援を充実させていく。
		挨拶をよくしている	94	84	87	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)				
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	95	89	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	86	86	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	98	88	100	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	90	86	100	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	91	78	100	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	98	88	100	家庭学習の習慣化は、本校の最大の課題である。本年度は全校でスケジュール帳を導入して、計画的に学習に臨ませ、生活を振り返らせるようにした。画一的な宿題は原則として課さないことの意味は丁寧に説明し、家庭学習の手立てを示すなどして主体的な学びの実現につなげていく。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	90	87	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	61	50	36	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	91	79	93	
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	98			

健やかな体	保 健 ・ 衛 生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	90	95	100	基本的な生活習慣については、生徒と保護者及び職員の評価に差があり、生活習慣が乱れていることが危惧される。生徒、保護者を対象として7月にメディア利用に関する講演会を実施したが、メディアとの付き合い方については折に触れて指導していく。
	体 力 向 上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている	95	81	80	
		体力向上に努めている	75	94	100	
	食 育	食に関する教育活動を行っている	96	87	100	
信頼される学校	安 全 管 理	児童生徒の安全に気を配っている	92	88	100	おおむね良好である。各種通信、ホームページの利用によるタイムリーな情報発信は継続していく。
	情 報 提 供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	96	97	100	
	P T A ・ 地 域 と の 連 携	学校はPTAや地域との連携がとれている		97	100	
	職 員 資 質 向 上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環 境 整 備	教育環境が充実し、整備されている	92	84	93	これからも「働きやすさ」と「働きがい」にあふれた職場づくりに尽力していく。
	職 場 環 境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			100	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

<成果・課題>

・「家庭学習の習慣が身に付いている」の評価が生徒、保護者、教職員の三者とも低いのが本校の最大の課題である。本校では、主体的な学びを進めるために、一律に課す宿題の廃止、期末テスト廃止及び単元末テストの実施、単元内自由進捗学習の実施、スケジュール帳を用いた計画的な学習の推進といったことを実践している。今後も日々の授業の充実に努め、主体的な家庭学習につなげるとともに、発達段階を考えた上で、家庭学習の習慣が身につくよう支援をすすめていく。

・各種学力調査の結果は、全体として良好である。学習者用端末（デジタルドリルなど）の有効活用を通して、学力が伸び悩む生徒への支援を継続していく。

・「学校は明るい雰囲気である」の評価が生徒、保護者、教職員の三者とも高く、様々な教育活動が総じて良好に評価されている。

・ほとんどの生徒が長崎や自分の町を好きだと感じている。長崎をテーマにした地域学習の成果が出ていると思われる。

6 学校関係者評価

・授業の様子を観察したが、誰一人として退屈そうにしている生徒がおらず、授業に臨もうとする前向きな姿勢を感じた。

・家庭学習に課題が多いとのことであるが、学年が上がるにつれて学習するようになってきているのは望ましい傾向だろう。一律の宿題の廃止、単元末テストの実施などの取組が、主体的に学習に取り組ませるためのものであることは理解できる。何のために学ぶのかという意識をもたせる取組は継続してほしい。

・学校全体の雰囲気は良いと感じる。不登校及び不登校傾向にある生徒についても、支援を継続してほしい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

・授業へ向かう生徒の姿勢や学校全体の雰囲気は良好であるとの評価を受けた。単元内自由進捗学習や、ICT機器の積極的な活用など、授業改善に取り組む学校全体の姿勢はこれからも大切にしていく。

・主体的な学びの推進については、保護者にもその意図を丁寧に説明しつつ、スケジュール帳の活用やAIドリルの効果的な利用法を紹介するなどして、学年に応じた具体的な手立てを実践していく。

・大半の生徒が学校は明るく楽しい雰囲気であると思っている。だからこそ、そう感じていない生徒に目を向け、相談、支援活動の充実を図る。